

2022年3月29日発表

報道関係者各位

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

JPRS が『JP ドメイン名レジストリレポート 2021』を公開
-JP ドメイン名の登録数は168万件超、
JPDNS 初のローカルノード運用開始など -

株式会社日本レジストリサービス (以下 JPRS、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 東田幸樹) は、本日、JP ドメイン名の登録管理業務に関する 2021 年の年次報告書、『JP ドメイン名レジストリレポート 2021』を公開しました。

- ・ JP ドメイン名レジストリレポート 2021 (PDF)
https://jprs.co.jp/doc/report/registry-report-2021.pdf



本レポートは、インターネット社会の基盤を支える高い公益性と競争力が必要とされるドメイン名の登録管理業務について、JP ドメイン名のレジストリ (登録管理組織) である JPRS が、その活動内容を広く一般に公開することがインターネットの一層の健全な発展に資することになるとの考えに基づき、2004 年より毎年公開しているものです。

JP ドメイン名全体の登録数は、2022 年 1 月 1 日付で 1,680,673 件となり、2021 年 1 月 1 日時点と比較して 60,470 件の増加となりました。

JPRS は、JP ドメイン名登録管理業務を含むサービス全体のコンセプトとして掲げる四つの柱である「信頼性」「安定性」「利便性」「経済性」について、それぞれのバランスを適切に保ちながら、それらをより高度なものにすることに努めています。2021 年も、サービスの更

なる改善はもちろん、国内外のイベントや会合への参加、ドメイン名や DNS に関する情報発信などインターネットの安定運用のための活動を継続すると共に、以下を始めとする取り組みを行いました。

【2021 年の主な取り組み】

- ・ 2019 年より国内の通信事業者と研究用 TLD である「.jprs」を用いて実施してきた実証実験の成果を実環境に提供すべく、JP DNS として初となるローカルノードを北海道と九州に設置し、運用を開始
- ・ 設立 20 周年を迎えたことを記念した Web サイト「JPRS 20 年の歩み」を 2021 年 2 月に公開
- ・ インターネットの仕組みについて学べる小冊子や ccTLD を楽しく学べるポスターの全国教育機関への無償配布といったインターネット教育支援活動
- ・ DNS ソフトウェアの脆弱性に対する注意喚起や啓発といった情報発信活動

JPRS は、今後もネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献するため、よりよいサービスの提供に努めてまいります。

■株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

<https://jprs.co.jp/>

ドメイン名の登録管理とドメインネームシステム (DNS) の運用を中心としたサービスを行う会社。2000 年 12 月 26 日設立。JPRS はネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念として活動しています。

■参考 URL

1. 『JP ドメイン名レジストリレポート 2021』公開のお知らせ
<https://jprs.jp/whatsnew/notice/2022/20220329-registry-report.html>
(2022 年 3 月 29 日公開)

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本レジストリサービス（JPRS）広報宣伝室

TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452

E-mail: press@jprs.co.jp

<https://jprs.co.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-8-1 千代田ファーストビル東館 13 階
